

2018年4月
第1弾
配信開始

教材のご案内

医系国際誌が規範とする 研究の信頼性にかかる倫理教育プログラム

AMED支援国際誌プロジェクト 市川家國（信州大学）・新谷歩（大阪市立大学）

先行く国際誌と
時差のある日本。

論文撤回はなぜ
多発するのか。

国際誌が「今」求めている投稿規程を理解していますか？

研究の再現性・客観性・信頼性を確保する方法をご存知ですか？

撤回に至る論文を生み出さないためには、時代に合わせて刷新される国際誌の投稿規程を時差なく理解することが必要です。本教材では、国際誌が近年強く求めている再現性・客観性・信頼性確保の手段を概説します。

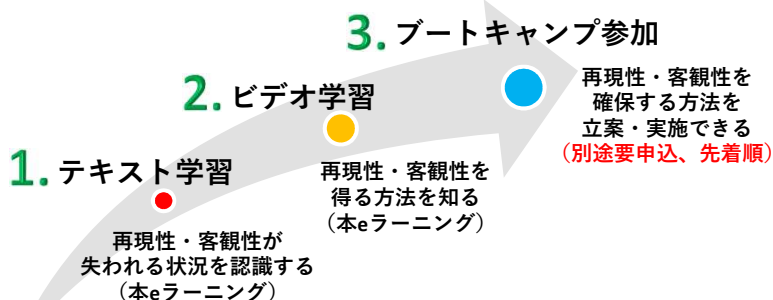
CONTENTS

ビデオ教材あり

データの再現性の確保に向けた行動

誤解を生まない統計解析

- 研究の再現性の適正な表現と信頼性（英語版あり）
- 国際誌が求める統計：チェックリストの活用
- 正しいデータの記述の仕方
- 記述統計量とグラフの描き方
- 検定とP値：統計的エビエンスとは
- 多重性の問題：研究計画の重要性
- 症例数の設計：信頼できるエビデンスを得るために症例数は計画時に必ず決めておく
- 検定の選び方：検定は結論を変え得る！不適切な検定を故意に選ぶのは不正行為
- 無作為化



ブートキャンプの様子
(2017年10月1日、於 大阪市立大学)

※ 本教材はAMEDの平成28年度研究公正高度化モデル開発支援事業として資金提供を受け、AMED支援国際誌プロジェクト（代表機関：信州大学、分担機関：大阪市立大学）により作成されたものです。

※ ブートキャンプはAMED支援国際誌プロジェクトが主催しています。eラーニング教材と併せて活用頂くと効果的ですが、開催期間は予告なく終了することがあります。なお、eラーニングのみご利用いただいても、内容に不足はありません。